

広島県教育委員会訓令第4号

本 庁
地 方 機 関
学校以外の教育機関

広島県教育委員会事務局等の職員の人事評価に関する訓令の一部を改正する訓令を次のように定める。

令和六年三月二十八日

広島県教育委員会

教育長 平 川 理 恵

広島県教育委員会事務局等の職員の人事評価に関する訓令の一部を改正する

訓令

広島県教育委員会事務局等の職員の人事評価に関する訓令（平成二十八年広島県教育委員会訓令第七号）の一部を次のように改正する。

別記様式第一号中「平成」を「令和」に、「与える」を「与え、成長のために挑戦する組織風土とする」に改める。

別記様式第二号中「平成」を「令和」に、「打ち出し、部下から高い信頼を得ながら効果的に組織をまとめ動かしている」を「打ち出した上で、部下が発言・行動しやすい組織風土を創り出し、高い信頼を得て効果的に組織を導いている」に、「動機付ける」を「部下が発言・行動しやすい組織風土づくりや動機付けを行う」に、「フイードバックを与える」を「フイードバックを与え、成長のための挑戦を後押しする」に改める。

別記様式第三号中「平成」を「令和」に、「方針を実現するための環境整備を行う」を「部下が発言・行動しやすい組織風土を保つ」に改める。「高める」を「とともし、メンバーが発言・行動しやすい組織風土を促す」に改める。

別記様式第四号中「平成」を「令和」に、「伝え、メンバーから」を「伝えるところに、メンバーが発言・行動しやすい組織風土を保ち、」に改める。「高める」を「とともし、メンバーが発言・行動しやすい組織風土を保つ」に改める。「直面させる」を「直面させ、部下の積極的な挑戦につなげている」に改める。

別記様式第五号中「平成」を「令和」に、「配っている」を「配り、メンバーの意見や質問を引き出している」に、「配る」を「配り、メンバーの意見や質問を引き出している」に、「不明点や質問に対して」を「意見や質問を傾聴した上で」に改める。「困っているときに」を「」、「意見や質問を傾聴し」を「」、「最新の知識を主体的に習得し、現場」を「常に最新の知識を主体的に習得し、これまでに培った知識や経験と融合させ、現場」に、「最新の知識を主体的に習得し、専門性」を「常に最新の知識を主体的に習得し、専門性」に、「現場の問題解決で得た要点や注意点」を「最新の知識とこれまで現場の問題解決で得た知識や経験」に改める。

別記様式第六号中「平成」を「令和」に、「報・連・相を行い」を「報・連・相や意見、

質問を行い」及び「報・連・相を行う」を「報・連・相を行い、意見や質問を投げかけてくる」に改める。

別記様式第七号から別記様式第九号までの様式中「平成」を「令和」に改める。

附 則

この教育委員会訓令は、令和六年四月一日から施行する。